

一般質問



定例会初日の議場の様子(6月14日)

一般質問は、市の行財政運営や事業施策の進捗状況、まちの将来展望等について各議員が様々な視点から質問を行う場です。第2回定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。5ページから10ページに各議員1項目の要約を掲載していますが、議員名の横のQRコードから、その議員の全質問にアクセスできますので、ご覧ください。



議会中継 アクセスコード

本市の交通安全について



自由民主党
翡翠会
石井 美季 議員



問 自転車の安全利用やヘルメット着用について、交通安全教室の中でも指導を行っていますが、交通安全教室の実績やヘルメットの着用率について伺います。

答 交通安全指導員による交通安全教室を幼稚園、保育園、小学校、老人クラブ、町内会で実施し、自転車の乗り方や交通ルール、マナー等、その年代に沿った内容で実施しています。

令和5年度の実施件数は27件、参加者数は約8300人で、うち園児が4655人、児童が3492人、老人クラブ、町内会が180人となっています。

交通安全教室においては、参加者にヘルメットの持参をお願いしておりますが、着用の割合は3割から4割程度となっています。

問 助成制度が創設されヘルメットの着用を促進することは、交通安全への意識の向上や被害軽減により効果があるかと期待されます。

助成制度の導入について所見を伺います。

答 ヘルメット着用への努力義務化以降、北海道

や北海道警察によるヘルメット普及啓発活動が重点的に行われており、本市としてもヘルメット着用の普及啓発を推進し、事故発生時の被害軽減や負傷者減に寄与していきたいと考えています。

今後どのように普及を進めていくかについて千歳警察署をはじめ、交通安全協会や交通安全運動推進委員会、交通安全児童指導員会等の団体と情報共有や意見交換を行い、助成制度についても検討して参ります。

問 愛知県や山梨県ではヘルメット購入助成制度があります。少なくとも児童生徒に対し助成し着用促進が図られればと思いますが、ヘルメット購入助成についての現状の考えを今一度伺います。

答 現時点では児童生徒のヘルメット着用率を把握しておらず、まずは現状把握の調査が必要と考えています。その後、購入助成も含め、着用率向上にはどのような施策が有効か、近隣の市町村の動向や先進事例も参考にし、所管部署と相談しながら検討して参ります。



ヘルメットを着用した幼児
(イメージイラスト)

学校施設と教育全般について



自由民主党
翡翠会
矢野 浩章 議員



問 将来的な学校の配置は、今後検討を進める予定の小中連携一貫教育の在り方の議論に関わることですが、その見解について詳しく説明願います。



校舎と校庭
(イメージイラスト)

答 学校教育基本方針の見直しに係る検討会議では、子どもたちの9年間の学びの充実には一貫教育が効果的であることから、本市においても一貫教育導入に向けた検討を進めるべきとの意見を頂きました。

そのため基本方針の改定後、小中一貫教育について議論する内部検討委員会を立ち上げるとともに、有識者等の外部委員で構成する検討会議を設置し、具体的な検討を進める事としています。

そうした事を踏まえ、小中一貫教育の基本方針策定に向け、学校の配置問題についても検討を行わなくてはならないと考えています。

その他の質問項目

・住宅防火対策について・ドローンについて



自由民主党
翡翠会
早坂 政芳 議員



第3期恵庭市総合戦略について

問 恵庭市では人口減少の問題に特化した重点的・横断的な取組を進めるべき施策の方向性や具体的施策として、第3期恵庭市総合戦略を今年の4月に発表しました。文化・芸術活動の推進について伺います。

答 本市では、市民が主体的に取り組む文化芸術活動を支援し、市民の誰もが生涯を通じて、いつでも文化芸術に触れ、参加することができる環境づくりを進めており、市民との連携により文化芸術活動の広がりを図っています。

問 文化芸術活動の周知に對しどのような取組をされているか伺います。

答 市の広報のほか、ホームページ、公式アプリえにわか、フェイスブック、地域情報紙などを通じて周知しており、今年5月からは、市内で行われている文化芸術イベント情報を収集し、夢創館のホームページにおいてもまとめて公開するなどの取組を始めました。



市民文化祭の舞台発表

問 文化芸術宅配事業とはどんな事業か伺います。

答 まちの様々なスペースを有効活用し、地元作家の写真や書・絵画などを展示し、様々な場所で気軽に文化芸術に触れる機会を創出している事業です。

展示ができる空きスペースがある施設をお持ちの方ならば、どなたでも利用可能で、専用サイトから作品を選び、専用フォームやFAXなどから申し込むと無料で作品のお届けから展示までを行う事業となっています。

これまでの展示場所として、市庁舎議場や黄金ふれあいセンター、公民館などを始め、民間施設では銀行や郵便局、病院、飲食店、会社事務所などで展示されており、令和5年度では47ヶ所に167点の作品を展示し、多くの皆様に鑑賞していただき、地元作家の作品を楽しんでいただいています。



自由民主党
翡翠会
宮 利徳 議員



HPVワクチン接種事業について

問 積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方に対する時限的な救済措置「キャッチアップ接種」を実施していますが、この制度の概要を説明願います。

答 キャッチアップ接種制度は平成25年から令和3年までの間の定期接種対象者で、積極的勧奨の一時差し控えにより接種機会を逃した方に対し、公平な接種機会確保の観点から改めて接種機会を提供するもので、対象は平成9年度から平成19年度生まれの女性で、ワクチンを合計3回受けていない方が対象となり、接種していない残りの接種費用を助成します。接種期間は令和4年4月から令和7年3月までとなります。

問 本年第1回定例会、予算審査特別委員会個別質疑での私の質疑に対し、令和5年度は接種対象者に対する個別案内はしておらず、今年度も個別通知は考えていないという答弁でした。

HPVワクチンの接種に関し、予算審査特別委員会以降、国や道の動きや通知があったのか伺います。



恵庭市ホームページ
HPVワクチン接種
事業周知ページ
QRコード

答 本年5月に厚生労働省のHPVワクチンに係る自治体説明会が開催され、ワクチンに係る経緯や接種実績等が報告されたほか、接種対象者や保護者に向けた国の周知状況や各自治体の接種対象者への個別勧奨、SNSを含むインターネットによる周知への情報提供があり、接種者等に対し夏までの重点的な周知広報についても説明がありました。

問 キャッチアップ接種は、今年度で終了するため、タイムリミットも含め、対象者に個別案内が必要だと考えますが、所見を伺います。

答 子宮頸がん及びHPVワクチン並びにキャッチアップ接種についての認知度向上が求められており、今年度末で本接種の時限措置が終了することから、改めて接種対象者に対する個別案内を早急に取り組んで参りたいと考えています。

その他の質問項目

水難事故防止の取り組みについて



自由民主党
翡翠会
三上 まどか 議員



国際教育の推進について

問 小・中学校の英語教育の現状と課題について伺います。

答 ALTや外部人材、専科教員の活用、ICTを活用した英語教育の実施のほか、外国人とのコミュニケーション方法や異文化を学べる小学生対象のイベント開催に取り組んでいます。

課題としては、中学生を対象とした教科に関する調査において、「聞くこと」では全道・全国と同程度、「読むこと」では全道をやや上回り、全国と同程度でしたが「書くこと」で、全道・全国をやや下回る結果となったところです。

問 教師主導の授業スタイルではなく、子どもが主役の授業が求められています。が、具体的にどのような授業改善が必要か伺います。

答 コミュニケーションを行う目的や場所、状況などを明確にした言語活動により、生徒が主体的に取り組むペアワークやグループワークを重視し、生徒が主体的に

課題に取り組む自分の考えや気持ちを対話的に学ぶことで、学びに深まりが生まれてくると思っています。



ALTとの英語授業
(イメージイラスト)

問 授業づくりにはICTを活用していくことが大切であり、近隣の自治体でも、文法学習や発音練習、プレゼンテーションなどをオンラインで海外の同世代と直接交流が可能となるプラットフォームの機能を備えたツールなどを導入し、授業の改善に繋がっていると聞いています。本市でも、今後一層の教育の質の向上、子育てのまち恵庭を可能にする学習環境の整備の観点から、実際に活用している近隣の自治体や教職員から成果、課題などをリサーチしてはどうかと思いますが、所見を伺います。

答 近隣で導入しているツールなど、実際に活用している市町村や教職員から状況を調査するなど、検証して参りたいと考えています。

その他の質問項目

企業版ふるさと納税について



自由民主党
翡翠会
吉永 孝之 議員

文化財行政について

問 本市の所有する文化財をいかにして確実に次世代に継承し、未来に先んじて必要な施策を講じていくことが重要だと考えますが、本市郷土資料館の文化財について、保管と活用の現状を伺います。

答 本市文化財の保管については、文化財の特性や保存に配慮しつつ郷土資料館及び埋蔵文化財整理室において、保管しています。

活用については、郷土資料館では常設展示や企画展示を開催し様々な文化財を公開するほか、埋蔵文化財整理室では、国指定重要文化財として指定されているカリンバ遺跡出土品を劣化の進行に注意を払いながら、年に一度の企画展を開催し、実物の一般公開を行っております。

文化財の魅力が、多くの方々に伝わるよう文化財の公開・活用を今後とも推進して参ります。

問 文化財の確実な継承に

向けた今後の保存と活用について、施設の温湿度管理及び利用者が安全で快適に利用できる施設の環境整備が重要になると思います。災害に伴う停電等においても、基礎的な保存環境を維持することが重要ですが、今後の施設の環境整備について考えを伺います。



遺跡文化財(イメージイラスト)

答 地域の残された文化財を守り後世に残していくことは、現代を生きる我々にとって重要な役割であると認識しています。

重要文化財の管理を適切に行うとともに、多くの方々に展示物を見ていただく工夫をしながら、市民の文化財保護への機運が高まる取組を進め、恵庭市文化財保護委員会にご意見を伺いながら施設環境整備について検討して参りたいと考えております。

その他の質問項目

緊急貯水槽の整備計画について・急増する外国人居住者に対する行政支援について



自由民主党
翡翠会
小橋 薫 議員

都市計画マスタープランについて

問 現在の新市街地検討は「①調査検討」「②新市街地の方針策定」「③都市計画マスタープラン等の関連計画の見直し」「④事業の決定と実施」のどの段階にあるのか伺います。

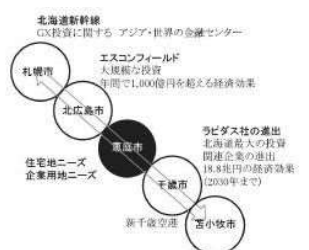
答 検討手順のうち、「②新市街地の方針」の案を策定したところです。今後はこの方針に基づき、「③都市計画マスタープラン等の関連計画の見直し」に取り組んで参ります。

問 今回の都市計画マスタープランはいつまでに見直す予定なのか伺います。

答 令和6年度末を目途に見直したいと考えています。

問 現在の検討において、新市街地の場所についてはどのように考えているのか伺います。

答 現時点ではサウンディング調査などで民間の開発意欲・可能性が示されている国道36号沿線を中心とした区域が検討対象になると考えています。



恵庭を取り巻く社会情勢・変化

問 今定例会の市長の行政報告で、土地取得が必要となった際に、機動的に対応する方策についても早急に検討すると報告があったが、具体的にどのようなことを検討しているのか伺います。

答 事業を推進する上で機会を逸することなく、迅速な用地交渉や早期取得に対応するため最適な資金調達方法として、土地開発基金の設置を検討しています。

問 基金とする理由は理解しますが、規模としてはどの程度と考えているのか伺います。

答 土地開発基金の造成額は10億円を予定しています。財源は、財政調整基金を考えており、持続可能な財政運営を念頭に、現時点で確保することが可能な金額としたところです。

その他の質問項目

恵庭市国際化推進アクションプランについて・市営住宅柏陽・恵庭団地建替基本計画(令和4年8月改定)について



公明党議員団
野沢 宏紀 議員

市営住宅の管理等について

問 市営住宅の管理等と既存借上型市営住宅事業について伺います。

答 本年5月末現在で1097戸の管理を行っています。

既存借上型市営住宅事業は、民間事業者等が所有する、公営住宅法等に基づく一定の基準に適合する空き住戸を市が2年間借上げ、市営住宅として転貸するもので、借上期間中は市が事業者へ借上料を支払うことで、事業者は借上期間中も一般の民間賃貸住宅と同様の管理をすることができるとなっています。

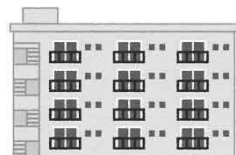
問 現在の市営住宅管理戸数になった要因を伺います。

答 柏陽団地の建替事業で柏陽団地の解体が進んでいることが、主な要因になります。

問 既存借上型市営住宅事業の今後の展開としては、どのような形で進めていくのか伺います。

答 柏陽団地の建替用に予定

定しています。しかし、新規募集においても低層階の要望ニーズが多いことから、既存借上型の住宅も、選択肢の一つとして考えています。



市営住宅
(イメージイラスト)

問 市営住宅の管理戸数が減っていく中で、安心して住める住居を求めている方が多くいらっしゃる中で、既存借上型市営住宅事業を活かすことは、そのニーズにも合っていくと思います。

今後、この制度の活用を進めて頂きたいと思いが、所見を伺います。

答 市営住宅は、住宅に困りの方々に低廉な家賃で住宅を提供することが目的です。昨今の新規募集における倍率は年々下がってきています

が、当選されていない方々の事を考えると、更に制度の運用を見直し、そういった方々が少しでも少なくなるように取組んでいきたいと思いが、今後の新規募集に向け取組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

防災ラジオについて・難聴者の補聴器購入助成について



公明党議員団
松島 緑 議員



第2次恵庭市空家等対策計画について

問 空き家等の利活用促進として、除却費用助成制度の検討について、現状と課題、今後の進め方について伺います。

答 第2次恵庭市空家等対策計画では、空き家等の発生抑制に係る取組として、除却後の土地の利活用や市場流通を促進するための除却費用助成制度の創設を検討することとしており、これに基づき道内自治体における導入事例について調査を進めてきました。

今後については、道内自治体の調査結果や本市における空き家等の実態等に基づき、関係所管で構成する「庁内検討会議」において、除却費用助成制度の在り方について検討して参りたいと考えています。

問 市民からの空き家の苦情や通報などの相談件数や、内容について伺います。

答 令和5年度では、近隣住民や町内会からの相談件

数は29件です。

相談内容は、空き家の雑草や木の枝が敷地からはみ出していること、害虫が発生していること、屋根からの落雪、建物の窓や煙突が壊れて危険であるとの相談が寄せられています。



空き家のリスク周知チラシ

問 今後、本市として除却費用の助成制度について、どのように検討されていくのか、具体的に伺います。

答 導入されている自治体について、事業規模や事業実績など、より詳細な内容について調査を進めていきます。

また今年度中に空き家等の実態調査やアンケート調査を実施する予定であり、所有者の意向などを踏まえ、関係所管で構成する庁内検討会議において、除却費用助成制度の在り方を検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

地域防災力の向上について、島松駅周辺整備事業について、恵庭市住生活基本計画について



公明党議員団
生本 富士代 議員



インクルーシブ公園について

問 障がいのある子も無い子も安心して遊べるインクルーシブ遊具を設置した公園があると、更なる子育て環境の充実が図れると思いますが、所見を伺います。

答 本市では、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえ、公園のバリアフリー化を計画的に進め主要な公園のユニバーサル化にも取り組んでいます。

例えば、車椅子のまま遊べる砂場や親子が一緒に乗れるブランコなどを配置し、誰もが一緒に遊ぶことができるインクルーシブの視点は、これから公園整備において重要になると考えています。

今後は、先行事例の調査を進め、あらゆる人々が気軽に訪れ、憩い、楽しむことができる魅力ある公園づくりを進めて参ります。

問 インクルーシブ公園には広い駐車場と多目的トイレの設置が必要です。将来的にインクルーシブの考え方に基づいた公園整備について考え方を伺います。

答 今年度整備予定の一部遊具において、アンケートや意見交換会でインクルーシブ遊具整備の要望を承っています。



インクルーシブ遊具

公園にハンモック型ブランコ、みゆき公園に回転遊具、おおぞら公園、こまどり公園、恵み野中央公園に車いすのまま遊べるテーブル砂場を整備する予定です。

障がいのあるお子さんや保護者のご意見を取り入れ、誰もが楽しく遊び、憩うことができる公園づくりを目指して参りたいと考えています。

問 インクルーシブ遊具を設置しても、必要としている人に情報が届かないのは残念であり、積極的な情報発信が必要だと思います。今後の取組を伺います。

答 広く情報発信し、公園の遊具新設や更新情報について、利用者に有効にご活用いただけるよう、ホームページを通じて情報発信を進めて参りたいと考えています。

その他の質問項目

通学路の安全対策について、「黄金南地区」のスクールバス運行について



市民と歩む会
新岡 知恵 議員



地域猫活動について

問 地域猫活動とは、飼い主のいない猫を捕獲し去勢・不妊手術を行って、これ以上増えないようにしたうえで元の場所に戻し、適切にエサを与え、食べ残しやフンを片付けるなどの活動です。

実際に地域猫活動をしている恵庭市民もいる現状を踏まえ、地域猫活動を広く市民に周知し理解を促す必要があると考えますが、市の考えを伺います。

答 市が市内の地域猫活動について把握していないことに加え、地域猫活動は、地域での合意形成や周辺住民との間で感情的対立を誘発しやすいといった課題があると認識しています。

そうしたことから現在のところ市民への周知や活動支援は考えておりませんが、実態把握や他市の取組などを参考に課題の整理に努めて参ります。

問 地域猫活動について、ホームページやチラシ、ポスターなどで市民に周知する

ことが重要だと思いますが、市の考えを伺います。

答 地域猫活動を行っている自治体では、ホームページなどで普及啓発を行っており、活動の周知や地域への理解にあたっては、町内会などと連絡調整を行っている事例もあり、参考にしていきたいと考えています。



捕獲された猫

問 活動をしている方にとって、不妊去勢手術費用の負担が大きいと聞いています。民間団体が無料のチケットを配布し、行政団体として登録すれば、行政がそのチケットをもらえるという取組もあります。ぜひ活動している方の支援に繋がってほしいと思いますが、所見を伺います。

答 いただいた提案や、ほかの自治体の事例を参考に、今後も猫の適正飼養に向けた取組を進めていきたいと考えています。

その他の質問項目

防災体制について、子どものフッ化物洗口について



市民と歩む会
柏野 大介 議員

物価高騰下における就学援助の見直しについて

問 就学援助は、小中学生の保護者を支援し、子どもの学びを支える制度です。近年は賃金の上昇などがあり、見た目の収入は増加する傾向にあります。物価はそれ以上に高騰しており、家計の状態は改善しているとは言えません。必要とする家庭が支給を受けらるよう対象世帯見直しの必要性について伺います。

答 就学援助制度は生活保護制度基準を参酌しており、認定基準は生活保護制度の改正に合わせ必要に応じて見直しを検討しています。一方で子育て支援の施策は、これまで国として様々な施策が取り組まれ、本年10月には児童手当の拡充も予定されています。

就学援助制度の対象世帯の見直しは、現状では考えていませんが、国の動向を注視し、社会情勢や地域の実態を踏まえ見直し等の必要性を総合的に判断する必要があると認識しています。

問 きょうだいが高校や大学に進学し、学費を奨学金やアルバイトで賄ったときに、奨学金がアルバイトかで差が生まれてくるというのは制度の在り方として妥当なのか伺います。

答 生活保護制度の基準を参酌しており、学生のアルバイト等の収入については、生活保護制度でも同様の取り扱いとしていることから、妥当と認識しています。



就学援助
(イメージイラスト)

問 本当に必要なとしている世帯を補足できているのか、対策を考えるため否認認定となつた要因を詳細に分析する必要があると思いますが考えを伺います。

答 制度の分析は市町村でできるものは限られることから、大きな変化があった場合には、就学援助の見直しに係る検討協議会を開催し学識経験者の意見も参考にしたいと考えています。

その他の質問項目

地域おこし協力隊の活用・障がい者の人権擁護



民主・春風の会
瀧谷 敏明 議員

ヒグマ対策について

問 最近、都市部においても市街地にヒグマが出没したという報道を目にします。北海道内の自治体では、ヒグマの駆除体制の維持が難しくなっていると聞いています。本市のヒグマ目撃数と被害、ヒグマ対策と防除体制について伺います。

答 目撃数は盤尻などの森林地域で多く、令和3年度は20件、令和4年度は15件、令和5年度は18件の目撃情報に寄せられ、農作物の被害も発生しています。

ヒグマ対策は、北海道が示す「ヒグマ出没時の対応方針」に基づき対応しており、人の出入りする可能性が高い場所では、猟友会と連携し現地パトロールを行い、防除体制は、ヒグマによる人畜の危害や農作物の被害を防止するため、猟友会に委託しパトロールや防除にあたつては1組2人以上を基本に実施しています。

問 猟友会への委託内容はどうのように決めているのか伺います。



ヒグマ
(イメージイラスト)

答 猟友会の意見などを伺いながら、最終的な委託料は実際のパトロール回数や防除の実績で決まります。

問 委託料や委託費用には、どのような経費や項目が計上されているか、また、必要な費用として賄われているのか伺います。

答 毎年必要となる基本委託部分に加え、パトロールや防除等の実績に応じた内容で、内訳は基本委託部分に銃弾購入費、保険費、春のヒグマ調査費、研修費などが含まれます。実績に応じた支払う経費は、ヒグマの出没情報があった時のパトロール費用、わなの設置・撤去、清掃費、捕獲費、車両借上費などとなります。本市としては、猟友会との協議を通じ委託料を決めており、防除に必要な経費は適正に計上され賄われていると認識しています。

その他の質問項目

未来を見据えた本市の組織運営について・任期付き職員について・カスタマーハラスメント対策について・読書のまち恵庭市について



派
諸 小林 卓矢 議員

生活保護について

問 生活保護受給者から、これまで何度か窓口で説明を受けた際に、人により意見などが変わるあるいは同じ職員でも日によって説明が異なるなどの話を最近立て続けに聞きました。職員間で相違が出た場合、どのように対応しているのか伺います。

答 職員間で見解に相違が生じた場合につきましては、生活保護手帳や保護の実施要領の確認を複数のケースワーカーで行い、必要に応じてケース診断会議を開催した上で、組織として判断しています。

問 最低生活費を上回る収入や資産がある場合は、申請却下や保護廃止となりますが、アルバイトなどで受給者の収入に波がある場合、シフトなどの判断で見込みで一旦停止、あるいは廃止もあるのか伺います。

答 被保護者の方が収入を得ている場合は、生活保護制度による収入認定の方法や



福祉事務所生活保護窓口

仕組みなどについて丁寧な説明を行い、毎月支給する生活保護費に大きな変動が生じないように、被保護者に確認、理解を得た上で、収入の見込み認定を行っています。

問 過日の厚生消防常任委員会、生活保護における事務処理で不適切な処理があったことが報告されました。確認など内部からの点検をどのように行っているのか伺います。

答 年に1回から2回程度、各ケースワーカーが担当する10ケース程度を無差別に抽出し、査察指導員が確認点検を行っています。また、毎年北海道の監査・指導を受け生活保護事務の適正な実施に努めています。

改めて再発防止を図るために組織的管理及びチェック体制の強化に努めて参りたいと考えています。

その他の質問項目

男女共同参画基本計画における本市の取り組みについて・障がい者の就労支援について



諸 派 議員
太田 実保



不登校児童生徒の現状と対策について

問 不登校児童生徒への取り組みとして心の小さなSOSを発見することですが、具体的にどのような取組を行っているのか伺います。

答 これまで令和4年度に1人1台端末のクロームブックを活用し、ウェブで児童生徒が気軽に直接相談等ができる北海道が作成したツールを活用し、道教委と連携しています。加えて北海道不登校対策プランに記載の1人1台端末を活用した健康観察ツールとしてデジタルフォームを作成し児童生徒の心の健康観察も長期休み前に実施するよう各校に通知しています。SOSを発している児童生徒に対し、学校やスクールカウンセラーで早期に相談対応を行い、早期に悩みを解決できるよう努めて参ります。

問 校内教育支援センターが全ての学校に整備されましたが、支援状況について伺います。

答 北海道が作成した北海道不登校対策プランに基づき、学びの場を確保し、チーム学校で支援するため、本市では令和6年度より全ての市内小・中学校に校内教育支援センターを設置しており、学びたい時に学べる環境として整備しております。登校意欲があるものの教室に入ることができない児童生徒に対し、学校の教員や特別支援教育支援員が学習指導等の見守りや支援を行っています。



心の小さなSOSを発見しよう!
(イメージイラスト)

問 デジタルドリルの科目と内容について伺います。

答 デジタルドリルは、小学校は主要5教科、中学校は9教科が対象となり、内容については、主要5教科は教科書に準拠した問題が用意され、小学校1年生から中学校3年生まで取り組めることから、学年を超えた復習や予習も可能となります。

その他の質問項目

子どもの居場所づくりプランについて

令和5年度 政務活動費の収支報告

議員の調査研究活動に資する経費として、各会派に対し議員1人当たり年額15万円に所属議員数を乗じた額を政務活動費として交付しています。

各会派から支出した領収書等の証拠書類と併せて、令和5年度の収支報告書が議長に提出されましたのでお知らせいたします。

※各会派の収支内容等の詳細は、恵庭市議会ホームページで確認できます。右記のQRコードからご確認ください。



*単位：円/令和6年3月31日現在

会 派 名 (人数)	交付額	執 行 額							返 還 額
		調査研究費	調 査 旅 費	資料作成費	資料購入費	広 報 費	広 聴 費	計	
自民党議員団翡翠会 (12人)	1,800,000	0	792,440	0	0	971,385	3,020	1,766,845	33,155
公明党議員団 (3人)	450,000	0	0	0	0	0	0	0	450,000
市民と歩む会 (2人)	300,000	0	0	2,370	11,187	271,679	2,800	288,036	11,964
民主・春風の会 (2人)	300,000	0	101,960	0	0	195,250	0	297,210	2,790
日本共産党議員団 (1人)	150,000	0	47,570	0	0	0	0	47,570	102,430
子どもの未来を守る会 (1人)	150,000	10,475	99,606	0	0	176,534	0	150,000 (286,615)	0
計 議員数等 (21人)	3,150,000	10,475	1,041,576	2,370	11,187	1,614,848	5,820	2,549,661	600,339

社会科学習で議場見学



6月21日の一般質問開催日に松恵小学校6年生の15名の児童の皆さんが社会科学習で、議場で一般質問の様子を見学し、議長室や委員会室で議長に質問しました。市議会では、議場見学の受入を行っています。詳細は事務局まで連絡下さい。

各常任委員会の審議について

常任委員会とは、恵庭市の行政に関する調査及び議案審査、陳情等の審査を行うため、条例で各議員が少なくとも一つの常任委員となることなどを定めて設置する委員会をいいます。

令和6年第2回定例会に、各所管課から報告され、委員会で審議された事項を抜粋して主な項目として掲載しています。恵庭市議会HPでは、委員会会議録や資料を閲覧することができます。また、各常任委員会の質疑の様子は、YouTubeに『恵庭市議会公式チャンネル』を開設し情報発信を開始しました。

総務文教常任委員会

予算・決算、防災、職員管理、税金、契約、企画、まちづくり、広報、学校関係、図書館、会計、監査などを審議します。



主な報告事項(第2回定例会)

- ・ 定額減税及び調整給付について
- ・ 第6期恵庭市総合計画策定の進捗状況について
- ・ 新市街地に係る基本的な考え方（案）について
- ・ 市営住宅柏陽・恵央団地建替事業について
- ・ 恵庭市学校教育基本方針の見直しについて（中間報告）
- ・ 恵庭市立学校における働き方改革推進計画の改定について（中間報告）

厚生消防常任委員会

環境、公共交通、ごみ・リサイクル、町内会、戸籍、国民年金、国保、子育て、高齢者、障がい者、消防などを審議します。



主な報告事項(第2回定例会)

- ・ 「書かない窓口」の拡大について
- ・ 漁町における住居表示事業の実施予定について
- ・ 老人憩いの家環境改善事業（冷房設備設置）について
- ・ 第3次恵庭市健康づくり計画の策定について
- ・ 長期休み学童預かり事業の実施について
- ・ えにわ子育て応援隊「子育て応援フェス」の開催について

経済建設常任委員会

農業、商業、工業、花緑・観光、道路管理、公園、市営住宅、除雪、上・下水道などを審議します。



主な報告事項(第2回定例会)

- ・ 物価高騰等に伴う経済対策について
- ・ 新たな工業用地について
- ・ 盤尻パークゴルフ場の設置及び管理について
- ・ 令和6年度 社会資本整備総合交付金事業等について
- ・ 市営住宅柏陽団地現入居者の移転状況について
- ・ 恵庭市公営住宅等長寿命化計画における今後の用途廃止について